



# 整備新幹線関係18都道府県期成同盟会中央要請結果概要 北陸新幹線に関する県内分の事業発注見通し

## ▶ 自民党と公明党の政権復帰後、初の合同要請

1月17日（木）、整備新幹線関係18都道府県期成同盟会による中央要請を実施し、全体要望として新規着工3区間の工期短縮、北陸新幹線敦賀・大阪間の整備方針の早期明確化、建設費や並行在来線運営の地方負担軽減などを要望しました。



野田自民党総務会長要請

## ▶ 敦賀までの工期短縮等を強く要望

満田副知事や松井県議会副議長をはじめ、北陸新幹線沿線府県の代表者は、北陸新幹線金沢・敦賀間の工期短縮、大阪までのフル規格による全線整備等を強く要望し、早期整備の重要性を訴えました。政権交代後初の同盟会要望を受けた政府・与党は、建設費などの地方負担軽減に意欲を示すとともに、新規着工3区間の工期短縮についても検討する方針を示しました。



松下国土交通政務官要請



伊東財務政務官要請

## <参考> 要望書(北陸新幹線部分 抜粋)

**北陸新幹線**



要 要	
●	東京～大宮間(約700km)
●	● 着工～長野間(約117km)
	・平成9年10月開業
●	● 長野～金沢(白山総合車両基地)間(約240km)
	・平成26年度末完成予定
	・事業費 約1兆7,800億円
●	● 金沢～敦賀間(約114km)
	・平成37年度末完成予定
	・事業費 約1兆1,600億円
●	● 敦賀～大阪間(約130km)
	・未着工区間(工事実施計画未申請)
●	所要時間
	東京～金沢間
	・2時間28分(国土交通省試算)
	東京～福井間
	・2時間52分(国土交通省試算)
	東京～大阪間
	・3時間30分
	(北陸新幹線建設促進同盟会試算)

北陸新幹線は、北陸・信越と関東・関西を日本海側でつなぎ、沿線の人口集積も高く、大きな需要が見込める路線であり、沿線地域の発展や日本経済の底上げを図る上で極めて大きな効果をもたらすものです。また、多量な輸送体系の確立による災害に強い国土づくりがこれまで以上に求められているところであり、大規模災害時においては東海道新幹線の代替補完機能を有するとともに、日本海国土軸の形成に必要不可欠なことから、フル規格を優先して全線整備すべき国家プロジェクトです。

平成9年10月に東京～長野間が開業し、現在長野～金沢間で平成26年度末までの開業を目指して整備が進められています。既に沿線の各都市では、その開業を見据えて、新幹線駅を核とした街づくりや民間による商業集積が進んでいます。この沿線の期待に応えるため、豊井とも平成26年度末までの金沢までの開業が一日も早く実現するようお願いいたします。

また、新たに着工された金沢～敦賀間について、早期完成・開業に向けて整備の促進をお願いします。さらに、大阪までのフル規格による整備方針を早期に明確化し、あらゆる手段を尽くして大阪までの早期全通を図るようお願いいたします。

新幹線建設に伴う地方負担については、地方の厳しい財政事情に鑑み、沿線自治体に過度の負担が生じないよう、国家プロジェクトにふさわしい財政措置を講じるとともに、各県への停車の配慮など負担に見合う受益の確保をお願いいたします。

既に経営分離された並行在来線では、厳しい経営状況が続いています。北陸新幹線の開業に伴い、従来にはない長大な区間が、並行在来線として地元に使われることとなっています。並行在来線は、地域住民の交通手段であるとともに、国の物流政策や大規模災害時における物資輸送のリスク分散の観点から、極めて重要な物資輸送の広域ネットワークの一部を担っており、既に経営分離された第3セクターへの支援を含め、並行在来線を存続できるよう、これまでの枠組みの見直し・再検証を行い、JRからの協力・支援のあり方や並行在来線の赤字解消も含められている買付料など新しい財源措置を含め、新たな仕組みを構築していただくようお願いいたします。

以上の課題に対応するため、公共事業費の拡充・重点配分、JRからの買付料の活用など、幅広い観点から十分な財源の確保を早期に図っていただくようお願いいたします。

### <北陸新幹線 要望内容>

- ・新たに着工された金沢・敦賀間について、早期完成・開業に向けた整備促進を図ること。
- ・大阪までのフル規格による整備方針を早期に明確化すること。
- ・地方負担については、沿線自治体に過度の負担が生じないよう、国家プロジェクトにふさわしい財源措置を講じること。
- ・並行在来線が存続できるよう、JRからの協力・支援のあり方や買付料など新しい財源措置を含め、新たな仕組みを構築すること。

## ➤ 北陸新幹線に関する県内分の事業発注見通し

1月4日（金）、北陸新幹線の敦賀開業に向け、鉄道・運輸機構は、測量や環境調査など計21件の事業を3月末までに発注する方針を発表しました。

県内分では、新北陸トンネルの工事のほか、ルート調査など12件が発注される予定です。

### 【大阪支社における平成24年度工事等の発注見通し】

#### ＜工事＞ 1件

##### ➤ 新北陸トンネル(奥野々)

工事場所：福井県南条郡南越前町

工 期：約70か月

工事概要：本坑掘削 4,880m 等

#### ＜役務＞ 11件

##### ➤ 測量(あわら・坂井間図化)

工 期：約8か月

##### ➤ 測量(福井・敦賀間図化)

工 期：約8か月

##### ➤ 測量(福井県内中心線測量) [5件]

工 期：約11か月

##### ➤ 環境調査(新北陸トンネル水文調査)

工 期：約24か月

##### ➤ 環境調査(新北陸トンネル環境調査)

工 期：約12か月

##### ➤ 環境調査(深山トンネル環境調査)

工 期：約18か月

##### ➤ 土木設計調査(九頭竜川橋りょう詳細設計)

工 期：約12か月

#### ※参考 県内分の発注済み事業

##### ＜役務＞ 3件

- ・協議資料作成(あわら・敦賀間)
- ・測量(津幡・敦賀間空中写真測量)
- ・測量(あわら・敦賀間基準点測量他)

福井駅部写真



九頭竜川橋りょうのイメージ図  
(新幹線と道路の一体橋)



新型車両イメージ図



※ 東京・金沢間の運行を予定している車両です。  
E7系(JR東日本)、W7系(JR西日本)  
編成12両、定員934名

#### ＜お問い合わせ先＞

福井県北陸新幹線建設促進同盟会

(事務局:福井県新幹線建設推進課)

TEL:0776-20-0298

Fax:0776-20-0729

E-mail:shinKansen@pref.fukui.lg.jp